

大自然とお友達体験講座 2023 第3回講座レポート

第3回目の講座は7月9日(日)に、環境学習拠点施設である「京エコロジーセンター」と、京都市南部クリーンセンター「さすてな京都」で開催しました。今回は施設見学を中心としたもので、自然環境の直接的な保全だけでなく、自身の身の回りから何が出来るかを考えてみて貰うきっかけとする狙いがあります。この日の受講生は9名。京阪藤森駅で集合した後、徒歩で京エコロジーセンターまで移動しました。



館内に入ってすぐ、ロビーの木製ベンチに参加者の興味が釘付け！板ごとに1枚1枚違う樹種の木材が使われており、質感や重さが違うことに皆気が付きます。



下の写真左は、今回の京エコロジーセンターでの講座でファシリテーターとしてお世話になるオンティ・ハチャンさんです。そしてその右の写真は、京エコロジーセンターのボランティアの皆さんの自己紹介の様子です。環境学習や環境保全活動に関心のある市民が、環境ボランティア「エコメイト」としてこちらで活躍されています。エコメイトは、3ヶ月間の養成講座を受講した後、活動を開始します。任期は3年間。任期修了後は館内でエコメイトをフォローする「京エコサポーター」として活動することもできるとのことです。



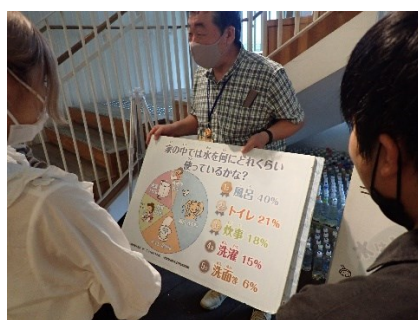
3つの班に分かれて、早速館内を案内してもらいました。

京エコロジーセンターの建物は、随所に様々なエコに繋がる工夫がされていました。

例えば空調についても、冷房がつく部屋は2部屋しかないらしく、館外の窓を覆うように設置してあるネットに蔦系の植物を這わせて緑のカーテンをして夏場は暑さを凌いだり、屋上に降った雨水を循環させて温度調整をしたり、その水もまたトイレの水に使用されたりしているとのことでした。説明を京エコサポーターやエコメイトさんからお聞きして、受講生の皆さんは色々な工夫があるのだと知ることができました。



下の写真は、展示物を利用した京エコサポーターの方の説明の様子です。

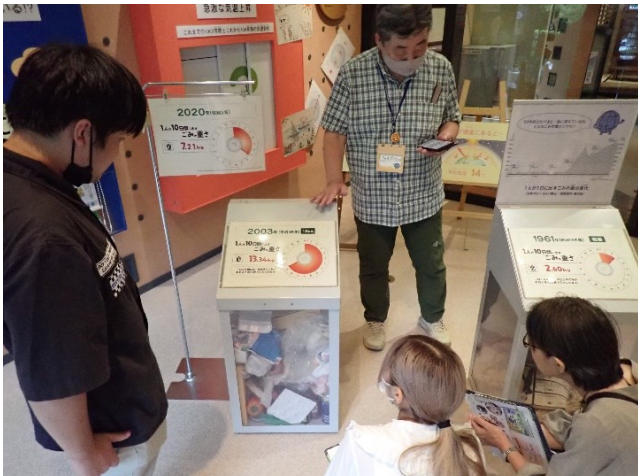


下の写真は、屋内の電化製品の消費電力について教えて頂いている様子です。

右の写真は必死にペダルをこいで電気を発生させている様子ですが、LEDは点灯しますが蛍光灯はなかなか点灯しませんでした。よって、LEDの方が省エネということで、体験して学べるというものでした。



こちらは年代別のごみの変化の様子。
近年、圧倒的にかさが増え、その内容はプラスチックごみが増えたのが分かります。



館内の壁一面にデザインされた展示は、分かりやすく、小学生でも理解しやすいものとなりました。



こちらは屋上の様子。
田んぼや畑、ビオトープ池があり、旬の野菜や季節ごとの草花や生物が見られます。
この日は雨が少し降っていたのですが、降った雨は足元の板の隙間から集められ貯蔵される仕組みがあるようです。



ここからは京エコロジーセンターでのボランティア活動の紹介をして頂いたあと、3つの班に分かれてボランティアの方と自己紹介をじっくり行いました。



自己紹介は、大自然とお友達体験講座の第1回でも使用した、4つの窓という手法を使いました。



以下は4つの窓記入内容です。A3の紙を4つに折ってそれぞれできた四角の中に書き込みます。それぞれがどういった思いで活動に参加しているのか、情報の共有ができた貴重な時間となりました。

4つの窓記入 (5分)

- 1 「氏名と所属」
～学校名学部学科学年またはご職業～
- 2 「講座参加動機」/
「ボランティア参加動機」
- 3 「興味のある事象・分野とボランティア活動経験」
- 4 「活動で今後楽しみにしていること」

4つの窓内容共有について

- ・3班に分かれて、椅子を輪にして集まる。
- ・1～4つの窓の順に話し合ってください。

1	2
3	4



その後、受講生で輪になって昼食をとりました。左の写真はその時の様子です。ボランティア活動に既に参加している人の経験談など、色々な話で盛り上がりました。

午後からは京エコロジーセンター前から出ているシャトルバスに乗って、さすてな京都に移動しました。出迎えてくれた担当のアテンダーさん(青の服)によるミニ講座で京都のごみについての話を分かりやすく知ることができました。



更に、下の写真のように巨大モニターのある部屋に移動して動画による紹介を受けた後、早速焼却施設の見学に回りました。とても綺麗な施設で、ひとつひとつの構造が住民への理解へと繋げやすいものになっていました。



下の写真は、アテンダーさんによる焼却炉の内部の紹介ですが、右手に持っているタブレットを使用して後ろの背景にかざすと、バーチャル背景を見ることができました。



クレーンのアームは大人でも子どもでも興味津々ですね。



下の写真の壁パネルは、ごみの処分施設に関するもの。ごみの埋立処分場には莫大なお金がかかると教わりました。焼却施設の建設よりも高額にかかるそうです。だから、ごみを減らすことが重要なんです。



煙突の上に展望台があり、エレベーターで登りました。高層マンションの22階部分くらいの高さがあるそうです。周囲に高い建物はなく、宇治川や旧巨椋池の跡地を眺めることができました。



下の写真は残念石と呼ばれる、二条城建設の時に舟から川に落石して使われなかった巨大岩の解説の様子。



下の写真は中央制御室を眺める受講生の様子。きちんと分別されていないスマートフォンや電池の爆発があったりするので、緊張して仕事にあたっておられるそうです。



バイオガス化施設の説明を受けている様子と、実際の施設の外観を見る受講生たち。パネルによる詳しい説明の後で実物が見られ、更にその説明がアテンダーさんによって続くところが受講生も理解でき易かったです。



こういったパネルが施設内には最初から最後まで多数有り、順を追って京都のごみのことが全て分かっていくというものでした。



最後に、今回の話の感想などの共有や次回の講座案内のあと、駅までのシャトルバスを待っている間、受講生は施設内のまだ触れていなかったアクティビティを堪能しました。



アンケートでは、受講生全員が今回の講座の参加満足度を満点で回答して頂けました。両施設の展示内容も共に満点でした。

記述内容としては以下のようなものがありました。

○京エコロジーセンターについて

・施設のいたる所にエコについて学べる仕掛けがあったり、実際に実践されている部分が素晴らしく感じた。屋上のビオトープもあまり広くはないのに、様々な環境が形成されていて面白かった。

・環境問題についてとてもよく分かりました。また、ボランティアの方々と直接お話する機会がとても自分にとって貴重な経験となりました。今まであまり意識していなかった事もこれからの生活で意識してすごしていきたいです。反省することもたくさんありました。これからはマイボトルやエコバッグなどをつかいたいです。施設内のくふうも衝撃的でした。

○さすてな京都について

・行く前は普通のクリーンセンターだなと思いましたが、説明を聞いて、とてもエコで考えられている場所だと思いました。

・ゴミの分別がどれくらいどのように大事かがわかりました。また、ゴミがどのような過程を経て埋め立て地にたどりつくのかがとても楽しく学べました。ゴミだけでなく様々なことが学べてとても楽しかったです。これからはゴミの分別を意識して生活したいと思いました。

以上のような回答が寄せられ、自身の身の回りから環境について何ができるかを、改めて考えなおすきっかけとなった講座となりました。